

一田畠不_レ荒様にすへし

水損等にて荒地となり

起し返し一家之力に不_レ及

処は村中互に助勢す

へし村中之力にも不

及程の事ハ可_二申出_一事

付永荒之地起し返し

又は新田畠開立ハ

可_二届出_一事

一田畠を開き可_レ然地ハ

村々申合せ処役人立合

秣場作道等之妨にも

不_二相成_一ハ可_二申出_一新開

可_二申付_一事

付堀を埋溝筋道

筋を付替又ハ新

堀堤等築ときハ

村役人立会吟味の

上可_レ請_二差図_一事

付用水堤田畠之境

界等常々申合せ

置不_レ可_二諍論_一事



「読み下し」

ひとつてんばた

一 田畠荒らさぬ様にすべし、

水損等にて荒地となり

起し返し、一家の力に及ばざる

処は、村中互いに助勢（成）す

べし、村中の力にも

及ばざる程の事は申し出すべき事、

つけたりえいあれ

付 永荒の地起し返し

又は新田畠開き立つは

届出るべき事、

一 田畠を開き然るべき地は

村々申し合わせ、処役人立ち合い

秣場作道等の妨げにも

相成らざるハ申し出ずべし、新開

申付けるべき事、

付堀を埋め溝筋道

筋を付け替え又は新

堀堤等を築くときは、

村役人立会い吟味の

上差図を請くべき事、

付用水堤田畠の境

界等、常々申し合わせ

置き諍論すべからざる事、

「用

永荒…「えいあれ」、「えいこう」とも。田畑が永久に荒廃すること。

起し返し…天災等で荒れた地を、復原させ、生産能力を回復させること。

まぐさば

秣場…田地の肥やしにする草や牛馬の飼料用草を刈り取る場所。草刈り場とも。

〔解説〕

今回は田畑に関する内容です。まず、大切な田畑を荒らさないこと、荒地になったら家族、村人、力を合わせて復活させること。それでも叶わない時は申し出ること、永荒地や新開地は届け出ること、などを論じています。また、地境のトラブルは多々あることなので、日頃から申し合わせるよう喚起しています。

次に文字をみていきましょう。一行目

「様」は頻出です。

「様」

「様」

などくず

しの程度も様々です。

「春遍し」

「春遍し」

「春遍し」は前回も登場しました。

「春遍し」

「處盤」

「處」は「処」の旧字体、

「盤」は

「盤」は

「盤」は

「盤」は

「盤」は

「盤」は

「盤」は

「盤」は

「盤」は

「盤」は

「盤」は

「盤」は

頻出しますから覚えておきましょう。一ページ目最終行の「せ」は「を」に酷似して

ますが、この形が典型です。二ページ7行目「會」は「会」の旧字体です。8行目

「図」

「図」は常用漢字ですが旧字体「圖」も覚えておきましょう。国構え「口」はくずし

が進むと仮名「い」の様になり、

「図」

「図」

「図」

「図」

「図」

「図」

「図」

「図」

「図」

「図」

「図」

「図」

「等」

「等」

「等」

「等」

「等」

「等」

「等」

「等」

「等」

「等」

「等」

「等」

「等」

「等」

「等」

「等」

「等」

「等」

「等」